

荷姿の物を起因物とする崩壊・倒壊の死亡災害発生事例（1999-2021年）

発生年	発生月	発生時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
2021	1	8 ～ 10	最大積載量3 tのアルミバン車を使用し、ドライバーと被災者の2名で配達作業を行っていた。2軒目の配達終了後、被災者が荷台に乗り込み、積荷（化粧板を段ボールで包装した荷（185 cm×93 cm×3 cm、重量19.3 kg）×20口（重量386 kg）が倒れないよう、押さえながら次の配達先まで走行し、到着後にドライバーが荷台のシャッターを開けたところ、積荷と荷台の隙間に倒れている被災者を発見した。	40301	100 ～ 299
2021	5	6 ～ 8	コンテナトレーラの運転手である被災者が、配送先の労働者2名とフォークリフト（最大積載荷重4.5 t）で荷下ろし作業を行っていたところ、荷（太陽光パネルの架台に使用する建材の束。3束約3 t）が崩れ、荷とコンテナの壁の間に挟まれたもの。	40302	10 ～ 29
2020	1	18 ～ 20	被災者の自宅から被災者が帰宅していないと事業場に問い合わせがあり、前日の被災者の就業場所である倉庫を確認したところ、倉庫の奥で倒れたネスティングラックの下敷きになった被災者を発見した。救急通報したが被災者はその場で死亡が確認された。	40301	30 ～ 49
2020	2	8 ～ 10	接岸した貨物船に積まれたコンクリート製板72枚（重さ15トン／枚）を、岸壁の移動式クレーンにて、陸へ降ろす作業を行っていた。船内は、玉掛者4名、やぐらの解体3名の計7名で当該作業を行っていたところ、積み荷のコンクリート製板が荷崩れを起こし、やぐらの解体作業員2名が下敷きになった。1名はその場で死亡が確認され、もう1名は両足を挟まれ重傷。	50202	50 ～ 99
			当該事業場では倉庫内に土嚢（内容物は培養土／重量1020 kg、高さ8		

2020	4	10 ～ 12	0 c m) を 2 段積みで保管していた。 1 1 : 5 0 頃、被災者がフォークリフトによるはい崩し作業を行っていたところ下段の土嚢を破ってしまい内容物が流出したもの。被災者は破れ目をガムテープで養生した後床面にこぼれ出た内容物を清掃していたところ、上段の土嚢が落下し下敷きとなり窒息、死亡したもの。	60101	10 ～ 29
2020	7	14 ～ 16	大麦等が入ったフレコンバッグ（1 袋の重量 1 t）が保管されている、支所の低温倉庫内において、同僚が運転するフォークリフトを使用して床に置いてあったフレコンバッグ一袋を移動させ、被災者が次の作業のため隣に置いてある一袋のフレコンバッグ上でフォークリフトを待っていたところ、被災者の背後にあった 4 段積みのフレコンバッグが倒れ、下敷きになったもの。	170209	1～ 9
2019	1	10 ～ 12	被災者が、アパート建築現場の壁材・天井材として用いる石膏ボードを、事業場自社工場においてパネルソーで裁断し、集積して積み上げる作業を行っていたところ、作業場所の近接箇所に積み上げてあった石膏ボード（高さ推定 3 メートル以上）が崩壊してその下敷きとなり、脳挫傷等により死亡した。	30209	10 ～ 29
2019	1	16 ～ 18	支店内にて作業請負を行っている被災者が倉庫内にて粉末が入っている 5 0 0 キログラムのフレコンバックの積み替え作業を 1 人で行っていたところ、4 段に積まれた最上部フレコンバックとその隣の 3 段に積まれた最上部のフレコンバックが荷崩れし、被災者が一方のフレコンバックの下敷きになり、窒息により死亡した。	50101	1～ 9
2019	7	8 ～ 10	客先の牧場において、被災者と同僚の合計 2 名で、トレーラーのコンテナから牧草の荷卸し作業を行っていた。直方体（8 8 c m × 1 2 5 c m × 1 3 0 c m、重さ 5 0 0 k g）で 2 段積みされていた下段の牧草にワイヤロープが付いたフックを打ち込み、フォークリフトでワイヤロープを引っ張って引き出していたところ、崩れそうになった上段の牧草を被災者が支えようと近づいた際、うつ伏せに転倒し、その上に牧草が落下したもの。	40301	50 ～ 99
		8	自社資材センター内に長さ 2 . 7 m の単管パイプ 1 0 0 本（約 7 0 0 k g）を金属枠で束ねたものが 1 0 束積まれていた。被災者は単管の塗装作業を行		10

2019	9	～ 10	うためにフォークリフトを運転して単管パイプの束を移動させていたが、単管パイプの束の下敷きになって倒れているところを発見された。	30201	～ 29
2019	10	～ 16	クレー射撃場新設工事において、現場の地盤改良等のために埋設してあった土留めシートパイル（幅450mm、長さ6100mm、390kg）を引き抜き10枚重ねたものを25トンラフターを用い、トラックに荷積みしていたところ、荷積み位置を調整していた被災者が荷台より飛び降り、直後に落下してきたシートパイルの下敷きとなったもの。	40301	30 ～ 49
2019	11	～ 8	6 配送先の事業場構内において、トラックの荷台内部で積荷である大理石の机の天板（重さ約80kg）2枚の下敷きになっている被災者が発見されたもの。	40301	10 ～ 29
2019	12	～ 14	12 天井クレーン（2.8t）を操作して船体部品であるハッチコーミングを2本の盤木を敷いて台車に乗せたあと、被災者が玉掛用具を外したところ、ハッチコーミングが倒れ下敷きになった。	11501	10 ～ 29
2018	1	～ 13	12 4段に積み上げられたパレット積みの荷をフォークリフトで移動させようとしたところ、3段目と4段目の荷が崩壊、被災者はフォークリフト運転席より離脱しようとして4段目の荷（エアコン室内機30箱）の下敷きとなり死亡したもの。	50101	30 ～ 49
2018	2	～ 5	4 被災者は、D型ハウス内に保管されていた牧草ロールのはい崩し及びトラックへの積み込み作業に従事していたところ、牧草ロール1個（重量約350kg、直径1.6m×幅1.2mの円柱型）に仰向けで下敷きになった状態で、牧場代表者に発見されたもの。牧草ロールは3列分（3～4段、33個分）が倒壊していた。	80109	1～ 9
2018	3	～ 13	12 高さ約3mで3段積みとしていたフレコンバック（シリカ粉入り）が荷崩れを起こし、被災者は約640kgの3段目のフレコンバックの下敷きとなり、圧死したもの。災害の現認者はおらず、1段目のフレコンバックが破れシリカ粉が散乱しガムテープが残っていたことから、被災者は1段目のフレコンバックが破れをガムテープにて補修していたものと思われる。	10801	300 ～

2018	4	14 ～ 15	古紙の保管場所において、巡視中の代表者が、2列4段の高さ（床面から約3.6m）に積み上げられた8個の古紙の塊について、列間に隙間を認め、倒壊の危険を感じ、塊を掴むアタッチメントを装備したフォークリフトを運転し、地上から2段目以上の合計6個の塊を列の隙間がなくなるように整えた。代表者がフォークリフトから降りた直後、西側1列の上部3個の塊が崩れ落ち、付近で清掃作業中の被災者に激突した。	10601	10 ～ 29
2018	7	8 ～ 9	被災者は、工場内で建築用鉄骨（H250×250長さ4.9m）7本を玉掛けし橋形クレーンにて移動した。当該鉄骨を作業台に降ろしたところ、当該鉄骨が被災者側へ倒れ、作業台の梁と鉄骨に腹部を挟まれ死亡した。	11209	1～ 9
2018	8	12 ～ 13	新築工事（旅館）の資材を波止場に置いてあったコンテナより荷さばき中（トラックへ運ぶ）に、資材の扉5枚が被災者に倒れてきたもの。	30201	10 ～ 29
2018	9	6 ～ 7	古紙を圧縮したブロック（1m角、重さ540kg）の集積場所で、3段に積み上げたブロックが倒れ、近くで掃除作業を行っていた被災者が下敷きとなったもの。当該ブロックの3段目は直前にフォークリフトで積まれたものであった。	150102	10 ～ 29
2018	12	21 ～ 22	被災者は、フォークリフトを用いて屋外に置かれていた、ペレット原料の運搬作業に従事していた。製造作業場所に戻ってこなかったもので、同僚が探したところ、ペレットの入っていたフレコンバック（約1トン）の下敷きになっていたところを発見されたもの。	10805	10 ～ 29
2018	12	10 ～ 11	社長が車両積載型トラッククレーンを操作し産業廃棄物のコンテナを吊り上げて移動させた後、被災者は社長の指示により玉掛けフックを付け替えようと梯子を移動させていたところ、そのコンテナが倒壊し下敷きになったもの。	150102	1～ 9
2017	2	16 ～	被災者は同僚と2人で重量約2tの板ガラス専用パレットを天井クレーンで4tトラックに積込み作業中、トラック荷台中央部のパレット固定用スタンションに沿わせて、スリングベルトのアイをスタンションのT型固定部に引っかけて固定し、玉掛け用スリングベルトを外したところ、T型固定部の	80209	30 ～

		17	溶接部が破断してパレットが被災者の方に倒れ、被災者はパレット共荷台から墜落し、地面とパレットの間に頭を挟まれ、死亡した。		49
2017	2	10 ～ 11	被災者を含む3人で、L字型コンクリート製品（重量約7.2t）の外壁材を工場内に展示するための運搬作業を行っていた。橋形クレーン（10t）で製品を展示するための場所まで移動させ、地上に降ろし、同僚が脚立梯子を使い上部に掛けられた玉掛用具を外した後、製品が倒れ脚立梯子を下で支えていた被災者は橋形クレーンのサドルと製品に頭部を挟まれ死亡した。	10901	50 ～ 99
2017	8	20 ～ 21	倉庫内に4段に積んでいたフレコンバッグ（米が入ったもの。重さ約1トン。高さ約1.1メートル。）の一部に崩れる気配があったため、被災者はい替えを行うためにフォークリフトを運転して手前のフレコンバッグを移動させようとしたところ、フレコンバッグが崩れ出し、それに気付いた被災者はフォークリフトから降り避難しようとしたが、その方向にフレコンバッグが崩れ、被災者はフレコンバッグの下敷きとなった。	170209	10 ～ 29
2017	11	16 ～ 17	トラックに鉄管11本（1本約150kg）をフォークリフトを用いて荷積み作業中、フォークリフトの爪を引き抜こうとした際、鉄管がその反動で動き出し、横で見ていたトラックの運転手（被災者）が落下を食い止めるため、手で荷台上に鉄管を戻し、被災者がリフトマンにOKの合図を出し、リフトマンがフォークリフトの爪を引き抜き後進させていたところ、鉄管が被災者の上に落下した。	40301	10 ～ 29
2017	12	16 ～ 17	現場から持ち帰った資材をユニックの荷台から荷降ろしをしていた。荷台には角材の上に単管パイプの束を載せて全体を2か所で番線固定してあった。被災者が2か所目の番線を切断したところ上部にあった単管パイプの束（20本約270キログラム）が荷崩れを起こした。被災者は頭部外傷により死亡した。	40301	1～ 9
2016	1	8 ～	取引先が所有する資材置場においてトラックで搬送した荷の荷下ろしはい付けを行っていた際、当日以前にはい付けしてあったはいの4段目手前側へ同種の荷（鋼製単管を結束して束にしたもの、一束約250kg）を追加はい	30209	1～

		9	付けし、次に隣へ同様に各段2束ずつ合計4段のはいを1段目から積もうとしていたところ、はいが荷崩れし、崩れてきた荷とトラックの間にいた作業者がその間に挟まれて胸部を圧迫され被災した。		9
2016	1	11 ～ 12	被災者は、工場の古紙保管ヤード内において、古紙ベール（古紙を圧縮した直方体で塊。番線結束。）258個のはい崩しに従事。古紙2個がフォークリフトによりはいから抜き取られ、その後に、パレットの片づけ作業で被災者がはいに近づいた時、当該はいの2段目から4段目までの計11個の古紙が崩壊し、被災者がその下敷きになった。	10601	50 ～ 99
2016	2	9 ～ 10	空のフレコンバッグの仕分けをする作業場で、フォークリフト運転者が空のフレコンバッグが入ったコンテナ（約110kg）5個を積み上げて仮置きした後、上4個を後方に運ぼうとフォークリフトで持ち上げたところ、コンテナがバランスを崩してフォークリフト前方に倒れ、仕分け作業を行っていた被災者の頭上にコンテナが落下した。	50101	10 ～ 29
2016	2	2 ～ 3	トラック運転者である被災者は、運転途上に休息をとる目的で午後10時30分からガソリンスタンドで停車をしていた。翌日の午前9時にガソリンスタンド店員がトラックの状況を見に行ったところ、トラック後部扉の左側が開いており、トラック荷台内部に立てかけられた荷と仕切り板が斜めに傾き、被災者がそれらの間に挟まれ、死亡した状態で発見された。	40301	50 ～ 99
2016	4	21 ～ 22	ペットボトルの材料（PET）の入ったフレコンバック（1袋1050kg）を工場内に2段積で保管していたが、上段のフレコンバックが落下し、その下にいた労働者に激突した。	10106	10 ～ 29
2016	5	6 ～ 7	被災者は、県外の荷の配送先である敷地内にて、ウィングボディのウィングが開いた状態でトラック荷台側面から崩れた荷（梱包された住宅用資材で棒状及び板状のもの。重量は計約630[kg]。）の下敷きになっているところを発見された。	40301	10 ～ 29
		15	被災者が荷（ボード480枚；1.23×2.16×0.015m）を1山60枚（重量約1.5トン）ずつに束ね、1列を4山の上下2段積みで荷台に積み、県外の配送先に10tトラックで配送した際、荷を下ろすため、ト		10

2016	5	～ 16	ラック左後方部で左側ウイングの開放操作をしていたところ、積まれていた荷が荷崩れを起こしていたため、その荷重で突然あおりが外れ、そのあおりが被災者に激突した。	40301	～ 29
2016	6	～ 16	被災者が事業場倉庫内で、ガラスが積載された鉄製パレット（重量：ガラス 633kg パレット 100kg 計 733kg。パレット寸法：縦 1.9m 横 2.9m 幅 0.65m）が倒れ、作業台との間に挟まれ被災した。	80209	1～ 9
2016	8	9 ～ 10	被災者が一人でスリットコイル（幅：30～125mm、直径：1050～1200mm、コイル数：10個、全重量：3610kg）の結束作業中、コイル転倒防止ポールを作業位置の後方に移動させ、スリットコイルと転倒防止ポールの間で、下部の結束バンドを締め付ける作業を行っていたところ、スリットコイルの6～7個が被災者側に転倒し、被災者はスリットコイルと転倒防止ポールに挟まれ、胸部を圧迫されて死亡した。	11209	30 ～ 49
2016	9	17 ～ 18	廃材置き場において、地盤を補強するため地面にコンクリートを敷く作業を行っていたところ、近くに積み重ねてあった廃材プラスチックの塊（縦約 1.4m、横約 1m、高さ約 1.3m、重さ約 350kg）が崩壊し、被災者と接触した。	150103	10 ～ 29
2016	10	11 ～ 12	国道の改良に伴うずい道新設工事。工事の支障となる廃線となった鉄道のずい道（新設ずい道と坑口が隣接）を閉塞する作業を行っていた。坑口に木製型枠を組立て、大型土嚢（5段：2列～3列）を置き、ずい道内部にコンクリートを流し込んでいたところ、ずい道の縁と型枠の隙間からコンクリートが漏れ出てきたため、大型土嚢の上で隙間に布等を詰めていた時、型枠とともに大型土嚢が崩壊し、墜落した際大型土嚢の下敷きとなった。	30102	10 ～ 29
2016	11	23 ～ 24	フォークリフトのフォーク若しくはパレットの角で2段積みになっていたフレコンバッグ（重量 1 トン）の 1 段目フレコンバッグの側面に傷をつけてしまい、その傷が破れて粉状の内容物（シリカサンド：酸化ケイ素）が流出したため、補修作業を行っていたところ、2 段目のフレコンバッグが崩壊し、被災者が下敷きになり死亡した。	10909	100 ～ 299

2016	12	10 ～ 11	牧場の拡張工事の一環として給餌場を新設するにあたり、その建築材料として新牧場まで、トラックにより単管7本の運搬作業を行っていた。新牧場にて荷を下ろす際、積荷を固定していたロープを外し、被災者が荷台に上り積み荷を降ろそうとした際に積荷が崩壊、積荷すべてとともに被災者が荷台左側面から墜落した。墜落時に積荷により腹部が圧迫された結果、臍臓が損傷し死亡した。	10101	1～ 9
2015	5	15 ～ 16	被災者を含む作業員5名（運輸会社の労働者1名と合同会社の労働者4名）はフォークリフトを使用し、鉄板の移動作業をしていた。被災者は、フォークリフトが抱えた鉄板を下す場所（床面）に、当該鉄板を支えるためのりん木を並べ、りん木の位置を調整をしていたところ、被災者の後方にある扉に立て掛けられていた重さ約1 tのバーインコイルが被災者の上に倒れ、下敷きとなったもの。	50101	30 ～ 49
2015	1	13 ～ 14	サイドフォークリフトを使用して鋼管製はしご（足場部材）の束を運搬中、はしごの束が崩れ、被災者に激突した。	11501	1～ 9
2015	11	17 ～ 18	資材置場において、足場の横材60本を番線でくくった束をフォークリフトを使用して9段（高さ約3メートル）に積み上げた後、被災者が当該足場材の束を背にしてフォークリフトの誘導を行っていた。そうしたところ、足場材の束の山が崩れ、被災者の背中、尻、足が挟まれたことにより、全身多発骨折によって死亡したもの。足場材の束の山が崩れたのは、積み上げ後約5分経過した時点であった。	30309	1～ 9
2015	11	14 ～ 15	製品である圧縮した古紙の塊（大きさ1 m×1 m×2 m、重量：約1 t）48個を搬出前に工場内で6段に積み上げて保管していたが、被災者が工場床の清掃作業をしている際にこれが崩壊し、その下敷きとなったもの。	80109	10 ～ 29
2015	3	7 ～	被災者は、同僚の労働者1名と共に倉庫内において、飼料が入ったフレコンバッグ（直径約1 m、高さ約0.7 m、重量0.5トン）が5段3列に積み上げられている（奥行き、高さともに約3.2 m）の横で空き袋の整理作業をしていたところ、同僚が整理作業に使用していたフォークリフトの爪が2段	40301	100 ～

		8	目中央のフレコンに当たって破損し、飼料が漏れ始め、その数分後、上部等にある9個のフレコンが崩壊して被災者が下敷きになったもの。		299
2015	6	14 ～ 15	倉庫内において天井クレーンを使用して平鋼の束（幅26cm、高さ17.1cm、長さ5.5m、重量約1.9t）の移動作業を行っていたところ、5段に積み上げた平鋼の束の上から3段分が玉掛けワイヤーを外す作業を行った後、移動していた被災者の方に崩れてきて、被災者が崩れた平鋼の束に挟まれたもの。	50101	1～ 9
2015	9	11 ～ 12	9月28日午前11時15分頃、パルプ工場の古紙ヤード内に2段に積み上げられていた古紙ベールの集まりを、専用フォークリフトを使用して1個ずつ工場内に移動させていたところ、2段積み状態の古紙ベールが荷崩れし、上段の古紙ベールが被災者の頭部を圧迫したことにより死亡したと推定される。古紙ベール1個の形状は、直方体（横100cm×縦180cm、高さ109cm、重さ1,140kg）	170209	10 ～ 29
2014	3	6 ～ 7	被災者は、木製の角材（長さ4m×縦10.5cm×横3cm）の束を積んだトラックで、荷主の事業場を出発した。翌朝、配送先近くの県道脇で、ウイングの上がったトラックの荷台から崩れ落ちた角材の下敷きとなっている被災者が発見された。	40301	10 ～ 29
2014	6	11 ～ 12	クレーン付台船の船倉壁際に積み上げられた波消しコンクリートブロックに印字された番号を確認しようと、船倉壁と上段の波消しコンクリートブロックの間に頭を入れていたところ、テトラポットが滑り落ち、船倉壁との間に頭部をはさまれ、死亡した。	30111	10 ～ 29
2014	9	9 ～ 10	被災者が、ウイングボディのトラックの荷台側面のウイングを全開とし、荷台上で3段に積み重ねた荷の荷卸しを行おうと、荷を荷台に固定していた結束バンドを外したところ、最上段の荷が崩れ、梱包を破った木材に激突され、被災者が木材と共に荷台から墜落。頭部外傷により、死亡した。	40301	10 ～ 29
2013	12	2 ～	物流センターで荷を下ろすために被災者がトラックのあおりを開いたところ荷が崩れ、荷が当たり死亡した。尚、荷はキャビン側から左右2組、4列に	40301	10 ～

		3	並んで積まれていた。トラックの両ウィングを開け、運転席側のラッシングベルトを緩め、助手席側のあおりを開いたところ荷が崩れた。		29
2013	3	18 ～ 19	最大積載荷重13.8tのトラックで運送中、被災者は荷台の積み荷（フープ鉄筋束、約79kg）が荷崩れしていることに気付いたため、高架下道路脇にトラックを止めて、会社に連絡し手助けを要請した。その後、手助けに向かったドライバーが、荷と荷の間に腹部を挟まれ意識を失っている状態の被災者を発見し、救急搬送したが死亡が確認された。	40301	10 ～ 29
2013	3	11 ～ 12	はしけよりジャンボタイヤ（4本、1本の直径2.7m、重量1.3t）を本船揚荷装置にて運搬し、船倉内に仮置きした際、ジャンボタイヤ（4本）のうち2本が倒れ、その傍で作業していた労働者が下敷きとなった。	50202	50 ～ 99
2013	9	9 ～ 10	ビール箱（350ml缶×24本入り）売り場にビール箱を補充するため、被災者は、前日から13段積んであったビール箱のすぐ横で、脚立に乗りビール箱を補充しようとしたところ、13段の横に10段積んである空箱にビール箱を落とし、その衝撃で13段のビール箱が被災者に崩れてきたため脚立と共に倒れ後頭部を床に打ち、死亡した。	80209	30 ～ 49
2013	9	15 ～ 16	被災者は、民家の庭先から解体後の足場部材（単管等）を路上に停車していた3トントラック荷台に積み込んでいた。単管は荷台上にて12～24本を1束として番線で緊結し、積み重ねていたが、何らかの理由により単管の束3束（約743kg）が崩れ、別部材を取ろうと荷台を背に屈んでいた被災者を直撃した。	30209	1～ 9
2013	9	10 ～ 11	型枠材の積込搬出作業において、パイプサポート24本をチェーンで束ねたものをクローラクレーンにて10tトラックの荷台に積み込んだ後、積荷のバランスが悪いので、被災者が荷台に乗ってパイプサポートの束を押していたところ、荷崩れし、被災者とパイプサポートの束が荷台から落ち、被災者はパイプサポートの束の下敷きになった。	30201	10 ～ 29
2012	5	10 ～	被災者は運送業の労働者であり、配送先において、テールゲートリフターを使用して荷（300～400kgのカーゴ）を降ろす作業中、地面近くで荷がリフターから滑り落ちそうになったため荷を支えようとしたところ荷が倒れ、そ	40301	30 ～

		11	の下敷きとなった。		49
2012	11	17 ～ 18	製品置き場において、作業員が3段に積み重ねた金属製の空箱（高さ約1.5m）を所定場所まで人力で移動させていたところ急に傾き、隣にあった網籠（高さ約3.5m）に3段目の空箱の角の一部が引っかかってしまった。作業員単独で引っかかりを外すため空箱をゆすっていたところ、網籠が3段目から崩れ、補助に来た被災者に激突した。	11209	50 ～ 99
2012	7	8 ～ 9	小麦原料納入工程中、20フィートコンテナ（小麦19 t）の払出ハッチ（30 cm角）が開かなかったため、コンテナ後部の観音扉左右をスリング紐で結び、右扉のみ少し開き原料納入を行おうとしたところ、右扉を開けた瞬間にスリング紐が切れ、被災者は一気にホッパーに流れ落ちた小麦に埋まった。	40301	30 ～ 49
2012	8	14 ～ 15	被災者はトラックにコイル材（直径1.27m：重量約800Kg×4）を積載後、荷台上で荷の状態を確認しようとした際、積載したコイル材が倒れ、既に積載積みのコイル材との間に挟まれた。なお、コイル材は荷台のラックに立て、ストッパーを置き、当該ストッパーをレバブロックで引張固定されていたが、倒れた側はロックが解除されており、ニュートラルの状態となっていた。また、トラックは前方に2～2.5度傾斜していた。	40301	10 ～ 29
2012	7	12 ～ 13	被災者は単独で倉庫内においてフォークリフトを運転中、保管中の袋物のはい（肥料袋60袋/1パレット、重さ1.2 t/1パレット、パレット3段重ね）の最下段に接触したため、フォークリフトを降りて破れた袋をガムテープで補修するとともに、ほうきとちりとりでこぼれた中身の掃除をしていたところ、はいの中段と最上段が崩壊して下敷きとなった。	40301	1～ 9
2012	3	15 ～ 16	被災者はペット樹脂製造用の粉末原料の入ったフレコンバッグ（重量約1 t）の下敷きとなり死亡した。被災者はフォークリフトを使い、3段に積み重ねられたフレコンバッグを一つずつ持ち上げ、原料をホッパーに投入する作業を単独で行っていたが、2段目のフレコンバッグの一つに穴が開き型崩れしたことに伴い、3段目のフレコンバックが落下、フレコンバックから流出する材料を手で押さえていた被災者を直撃した。	10805	50 ～ 99

2012	9	7 ～ 8	被災者は新築工事現場に使用する窓ガラスを搬入するため、当該現場の地下2階搬入ヤードにトラックを停めた。その後、ガラス工がトラックの荷台からガラスの荷降ろしをする準備中、被災者はトラックの荷台の脇にいたため、荷崩れを起こしたガラス10枚（1枚約80 k g）の下敷きになった。	40301	50 ～ 99
2012	7	16 ～ 17	被災者は、大型トラックの荷降ろし作業に取り掛かった際、後部扉を開き、荷台に上がって、荷を固定していたラッシングベルトを取り外し荷台から降りた。そこへ左右2列に並んだ荷のうち、右列の荷が後方へ滑り出し荷台から転落した。次いで、左列の荷も同様に滑り出して荷台から転落し、その場にいた被災者が下敷きとなった。	40301	30 ～ 49
2012	1	16 ～ 17	被災者は、油圧ショベルに掴みアタッチメントを取り付けた重機を使用して、出荷する廃棄配電盤をトレーラーに積み込む作業を行っていた。仮置場から配電盤を掴み上げたが、掴み方が不安定だったため、一旦トレーラーの脇に置いて掴み直そうと掴みアタッチメントを離したところ、傾斜して置かれた配電盤が倒れてトレーラーの運転者がその下敷きになった。	80109	30 ～ 49
2011	4	12 ～ 13	資材置場において、建設現場に鋼材10本（1本当たり約26 m、重量約2 t）を運搬するため、23 tトレーラーの前後に高さ約2.4 mの鉄製の架台を仮置きし、当該架台の上に鋼材10本を載せて、資材置場の下り勾配箇所を走行していたところ、前方架台が倒壊し、架台の上に載っていた鋼材10本が運転席を押しつぶし、被災したものである。被災者は、同月24日午前10時20分死亡した。	40301	1～ 9
2011	7	15 ～ 16	被災者を含む労働者3名は貨物船の船内で積み込み終わったパイプの束（7段、全体の高さ約3.4 m）をワイヤロープで固定する作業を行っていた。その際、労働者3名がパイプの束の上で作業中に5段目から7段目のパイプの束が荷崩れし、被災者がパイプの束とともに落下し、死亡したものの。他の労働者2名は退避できたため、被災しなかった。	50202	10 ～ 29
2011	3	13 ～ 14	鋼製コイルを裁断するため、切断機に鋼製コイルをセットする段取りをしていたところ、当該コイルは3束で梱包されているため、開梱したところ2束が倒れ（1束355 k g）、下敷きになったもの。	11209	10 ～ 29

2011	6	15 ～ 16	被災者が梱包場所で作業中、近くに積まれていた加工中の合板（923.5 mm×935 mm×35.5 mm、35枚積み）の山が2段積まれた上に3段目を乗せたところ、2段目が荷崩れを始め、荷崩れを止めようとフォークを下げ抑えこもうとしたが間に合わず、弾みで3段目も崩れ、下で梱包作業をしていた被災者の頭部に落下したものの。	10402	30 ～ 49
2011	11	12 ～ 13	トラックの荷台から冷凍コンテナ（漬物運搬用：縦、横各110 cm、高さ200 cm、重さ約480 Kg）をパワーゲートで降ろそうとしたところ、パワーゲートのキャスターストッパーにコンテナの車輪が引っかかり、コンテナを動かそうとしたところ、倒れそうになったため、支えようとしたが、倒れてきて、地面との間に頭を挟まれたものの。	40301	30 ～ 49
2011	5	22 ～ 23	パルパー担当であった被災者が、災害発生当日行方不明となり、事業場内で搜索されていた。同日他のパルパー担当であった同僚が、被災者が担当していたパルパーの液量が少なくなっていたため、コンベアを動かし、すでにコンベア上に乗ってあった古紙をパルパーの中へ投入した際、人のようなものがパルパーに落ちるのを目撃した。翌日1時頃、レスキューによりパルパーの中にいた被災者を発見、救出と同時に死亡が確認された。	10601	10 ～ 29
2011	6	14 ～ 15	被災者は2トントラックで、自社からタンク架台を工場内に運搬した。架台をフォークリフトでつり上げて降ろすため、労働者がフォークリフトをトラックの荷台に寄せて、荷台によじ登りフォークに繊維ベルトを掛けてシャックルで固定していたところ、シャックルを地面に落した。被災者がトラック荷台から降りてシャックルを拾おうとしたとき、架台が倒れて被災者の顔面を直撃した。	11209	10 ～ 29
2011	1	12 ～ 13	客先でトラック荷台内の卵が入ったラック（約370 kg）をトラック後部に設置されたパワーゲートに乗せて降ろす際、何らかの原因によりラックが倒れ、下敷きとなった。	40301	30 ～ 49
		8	被災者は、14トントラックを運転して石膏ボードを建材業者へ運搬し、運搬先事業場の労働者による荷卸し作業が終わるのを待っていたところ、同労働者がフォークリフトにてトラック荷台上の石膏ボードを持ち上げて後退し		10

2011	1	～ 9	たが、同ボードを荷台からずれた不安定な状態で荷台上に戻し、そのまま後退したことから、同ボードのバランスが崩れ倒壊し、トラックの横にいた被災者が下敷きとなったもの。	40301	～ 29
2010	12	～ 12	重さ約1.2t（約0.6tの荷2個）の強化ガラスを積んだ資材搬入会社の貨物自動車が、災害発生事業場に到着後、被災者と貨物運転者の2名で荷卸しの準備作業中、天井クレーンに玉掛けをする前に荷の結束ロープを外したため、荷台上の荷が不安定になって崩れ、被災者の方に倒れて、被災者はその下敷きになり、死亡したと推定される。	11709	30 ～ 49
2010	10	～ 14	雨水管布設工事現場の掘削溝内において、オープンシールド工法のオープンシールド機の組み立て作業を行っていた。被災者は当該機械の傍らで土の侵入を防止する鉄板をアーク溶接により固定していたところ、掘削箇所の側に2段積みされた薬剤の入った立方体のタンク（1個の重量：約1.5t）が倒れて上段のタンクが被災者を直撃した。なお、雨で地盤がゆるんでいたが、タンク下には角材を地山に2本敷いたのみで、地盤の養生を行っていなかった。	30110	10 ～ 29
2010	8	8 ～ 9	事業場所有の倉庫において、被災者と作業員1名が倉庫内に保管していた鉄パイプ（1本）をクレーンで吊り上げたところ、作業場付近に積まれた鉄パイプの束のバランスが崩れ、重さ1.3tの束が被災者の方向に崩れ落ちたもの。	11501	10 ～ 29
2010	6	～ 13	工場において、港より搬入した木材（厚さ28mm、幅128mm、長さ6mの板を縦1.01m、横1.08m、長さ6mにまとめ緊結し、2段に重ねたもの）をフォークリフトにて降ろしていた最中に、下の荷の緊結が全て切れて崩れたため、上の荷が被災者の上に落ち、左胸部を強打し、病院に搬送されたが死亡したもの。	40301	10 ～ 29
2010	6	10 ～ 11	シートパイル（長さ12m）3枚が荷山から崩れ、被災者に激突したため、被災者はシートパイルとともに約2.5m下に転落した。玉外し後にクレーンを走行させた際、フックに掛けていたスリングが引っ掛かったか、あるいは	11209	1～ 9

			は、シートパイルが不安定な状態で置かれていたとみられる。		
2010	6	15 ～ 16	取引先である牧場の飼料倉庫において、わらの塊（圧縮されたわら、重量450kg）を積み下ろし作業中、同僚が客先所有のフォークリフトで倉庫奥に4段積み上げたのち、続けて手前に積み上げるため、被災者がパレットを敷いていたところ、奥に積み上げられた3、4段目のわらの塊が落下し、被災者に激突した。被災者は、病院へ搬送されたが、5時間半後に死亡が確認された。	80209	100 ～ 299
2010	6	10 ～ 11	被災者は、12tトラックの荷台に台付けワイヤーロープで固定され、運搬されてきた重さ2tのコンクリート製のプレハブ建築資材の架台4基のうち2基のロープ外しの作業に従事していた。その際、架台の1基の支脚の接地部の一部が欠損しており、安定性が低下していたため、架台が被災者の方に倒れてきた。被災者は、荷台から地面に飛び降りたが、架台も荷台から地面まで倒れ、下敷きとなったもの。	40301	30 ～ 49
2010	5	10 ～ 11	大型タイヤ（直径約2.6m、重さ約1.4t）のコンテナ詰め作業中、最大積載2.5tフォークリフトで横吊し運搬してきたタイヤをコンテナに入れるため最大積載13tフォークリフトで縦吊りに掛け替える際、無保持で自立していたタイヤが倒れた。被災者は本社から作業応援で当日から就業していて、13tフォークリフトのフォークに鋼管を掛け渡すため、タイヤ横で待機していたところ、倒れてきたタイヤに挟まれ死亡したもの。	50202	50 ～ 99
2010	5	17 ～ 18	被災者はプラスチック原料の入ったフレコンバック（重さ750kg）をフォークリフトを使って3段（高さ約3m）に積む作業を単独で行っていた。作業の途中で被災者が床面のゴミを掃除してたところ、3段のうち上から2段のフレコンバックが崩れ、被災者が下敷きとなったもの。単独作業のため事故を現認していたものはおらず、被災者は翌朝に下敷きとなって死亡しているところを発見された。	10805	30 ～ 49
2009	3	16 ～	会社の冷凍庫内において、被災者が1人でフォークリフトを操作し、パレット上にはい積みされた魚入り木箱（1段の高さ約1.6m×4段）を搬出する作業中、4段目の木箱をパレットに載せたまま1段目手前の床面に下ろした後、被	80109	10 ～

		17	災者が下ろした荷の前方に立ち入った時に、3段目から下の木箱が崩落し、下敷きとなった。		29
2009	9	14 ～ 15	屋外製品ヤードにおいて、クレーンでトラックに3本の鋼管を積み込んだ後、助手席側のあおりを閉めようとしたが、台木があおりに当たって閉まらなかったため、台木の位置を修正しようと被災者は別の台木で叩いていたところ、積み込んだ鋼管（1410kg、800A×7500mm）2本が転がり落ち、被災者に激突した。なお、鋼管の転位を防止するため、2箇所にくさびが設けられていた。また、路面は助手席側に傾斜していた。	50101	100 ～ 299
2009	2	9 ～ 10	天井クレーンを使用し、トラックの荷台へコイル8束（約6.4t）を積込中、L形フックを外したところ、まもなくコイルが崩壊し、コイルとスタンション（支持柱）の間にはさまれた。	40302	10 ～ 29
2009	5	11 ～ 12	被災者は養鶏の餌を調合するため、倉庫内にて単独で作業を行っていた。餌の材料である米かすを取りに行く途中、材料の隣に4段で積まれていた袋状の荷（トウモロコシ粉・魚粉、1袋500kg、高さ60～70cm）が崩壊し、上2段の荷が被災者に落下し激突した。単独作業のため目撃者はいない。	70101	10 ～ 29
2009	1	20 ～ 21	木造建築現場に建築資材を配達した被災者が、その建築資材（プレカット合板等）の下敷きになった。	80209	30 ～ 49
2008	11	13 ～ 14	資材置場で鋼管杭(直径80cm、長さ15m、重さ2.6t)4本をトレーラーに積み込む作業をしていた。3段に積まれた鋼管杭から、2段目の鋼管杭をつり上げるためにハッカーを用いて玉掛け作業中、鋼管杭が荷崩れを起こして転がり落ちた。玉掛け者であった被災者は、鋼管杭から飛び降りたところを転がり落ちた鋼管杭にひかれて死亡した。	50101	10 ～ 29
2008	8	10 ～ 11	梱包がほどけたスリットコイル（板厚1.6mm、板幅75mm、重量569kg）をフォークリフトの爪を利用してスリットコイルの穴に通して修正作業を行おうとしていたところ、背後から別のスリットコイル（板厚1.4mm、板幅153mm、直径1300mm、重量1377kg）が倒れて下敷きとなり死亡した。	50101	30 ～ 49
			硝子の加工場で天井クレーンを使用して積み込みの作業をした際、積荷を固		

2008	3	18 ～ 19	縛した後、クレーンのワイヤーを外した。天井クレーンが離れた後に固縛の位置変更を行ったが、荷の固定が不十分であったため、積荷が倒れて被災者が下敷きになり死亡した。	40301	30 ～ 49
2008	11	15 ～ 16	移動式クレーン（つり上げ荷重25t）を使用してマンホールブロック（9分割）の最後のブロックを設置しようとした時、切梁が障害となったため一度玉外しを行い、ブロックを仮置きした。ワイヤーが外れた状態のブロック（約4t）の下部を作業員2人がバールを使用して押し込んだところ、ブロックが倒れて被災者が壁とブロックの間にはさまれた。	30199	1～ 9
2008	1	8 ～ 9	事業場の資材置き場において、車両積載形トラッククレーン荷台上の型枠資材の積み下ろし作業を行っていたところ、突然、積荷が崩れて背部に激突し、これに押し出される形で荷台より転落して身体を強打した。	150102	30 ～ 49
2008	9	14 ～ 15	倉庫内の天井クレーン（定格荷重2t）を使用して家畜用飼料が入っているフレコン（袋状の包材）を粉粒体運搬貨物自動車（バルク車）に積み込む作業中、指定されたフレコン（0.5t）を探すために2段積みフレコンと3段積みフレコンの間のスペースに入って品名を確認していたところ、3段積みフレコンの2段目と3段目が崩れてきたため、これに圧迫されて死亡した。	40301	50 ～ 99
2008	1	9 ～ 10	検品作業のため梱包された製品の上（高さ76cm）に乗り、検品する製品をバーコードリーダーでバーコードの読み込み作業（バーコードの位置は高さ約2.8m）を行っていたところ、乗っていた梱包製品から転落して検品していた梱包材が崩れてきてはさまれて死亡した。	10409	30 ～ 49
2007	5	7 ～ 8	仕入先工場へ、穴明け加工を依頼したアングル（グレーチング受材、長さ6m、重量1本あたり26.5kg、計8本、重量合計212kg）を被災者ら2名で取りに行き、最大積載重量1.5tトラックに積載し、束ねた後、固定する作業中に当該アングルが横滑りしてバランスを崩し、支えようとした被災者がトラックより落下、その上に束ねた当該アングルが落下した。	30201	1～ 9
2007	4	10 ～	被災者が、トラックへの荷（フレコンバッグ重量1020kg）の積み込み作業を手伝っていた際、倉庫に積み上げられていたフレコンバッグが崩壊	40301	30 ～

		11	し、当該フレコンバッグと出庫作業に使用していたフォークリフト（最大荷重 3 t）のフォーク部にはさまれ死亡した。		49
2007	2	7 ～ 8	被災者は、配送先の倉庫内で積荷を卸し終え、トラック荷台のウイング部分を降ろすため、荷台横の開閉ボタンを操作していたところ、被災者の後方に荷卸されていたロール紙（高さ 88 cm、直径 94 cm、7 段積）が被災者方向に崩れ、ロール紙とトラックの間にはさまれた。	40301	50 ～ 99
2007	1	8 ～ 9	建設用鋼材（長さ 0.2 m～9.165 m 総重量 20.157 t）を 23 t トレーラーから降ろすためのロープ解き作業中、突然、建設用鋼材が崩れ、その下敷きとなった。	40301	10 ～ 29
2007	3	11 ～ 12	被災者が、乾燥牧草（一束 450 kg）を保管している倉庫内で床面の乾燥牧草を整理する作業を行っていたところ、4 段に積み上げていた乾燥牧草のうち、上部の 3 束が崩れ、被災作業者を直撃した。	80209	1～ 9
2007	12	13 ～ 14	岸壁に接岸された船舶からプレカットされた建材（バンドで結束された荷、重さ約 3 t）を岸壁に荷揚げ作業を行っていた。被災者が船底で盤木の整理をしていたところ、背後の荷（4 バンド分）が崩壊し下敷きとなった。	50202	10 ～ 29
2007	8	16 ～ 17	コンクリート製品製造事業場内で、被災者は製品として屋外に立て掛けられていたコンクリート製の防火水槽の蓋（縦 2.4 m、横 3.4 m、厚さ 0.4 m、重量約 5 t）の表面仕上げ作業を行うため、当該蓋の下部を足がかりにして上ったところ、蓋が被災者側に倒れ、下敷きになった。	10901	1～ 9
2007	3	13 ～ 14	製鉄工場発注の防熱板（約 1.6 m×約 4.0 m、重量約 800 kg）をトラックにて構内納入し、荷台より構内天井クレーンを使用して荷おろし作業をしたが、玉掛けワイヤロープが不均一であったことから数回長さ合わせを実施し、ロープを手で引っ張った時に防熱板が倒れ、荷台上にいた被災者とともに転落し、被災者は防熱板と地上に設置していたノロパック（鉄製）との間にはさまれた。	40309	1～ 9
2007	9	10 ～ 11	射出成型機で使用するペレット状原料が 4 段積みにされた近くで、出来上がった製品の出荷検査を行っていたところ、最上段の荷が被災者の上に崩れ落ちた。	10805	50 ～ 99

2007	12	8 ～ 9	積み上げたコンクリート型枠が崩壊し被災者が下敷きとなった。	10901	～ 29
2007	7	8 ～ 9	倉庫内において、完成した石膏ボードを120枚（1枚90cm×180cm×12.5mm、重量14kg）つつ3段に積み上げ作業中、被災者が隣地において石膏ボードの下に敷くための台木を敷き並べていたところ、積み終えたばかりの石膏ボードが3段目から下50枚を残して崩壊し、台木の敷き並べをしていた被災者が下敷きとなった。	10909	10 ～ 29
2007	10	20 ～ 21	被災者は1名で倉庫内でフォークリフトを用い、荷（ポリプロピレン製樹脂シートを束にして結束し、パレット積みしたもの）を片付ける作業を行っていた。運転していたフォークを降りたところ、すでに4段に積み上げられた荷が崩壊し、最上段に乗せられていた荷が被災者を押しつぶした状態となっていたところを同僚に発見された。	10801	1～ 9
2007	8	7 ～ 8	工場内で大きな金属音がしたので工場長らが駆けつけると、3段積みのキャスター付きパレット（1台の高さ1m、幅1m、総重量350kg）と製品が床に崩れ散乱し、被災者はぐったりと座り込んでいた。病院に搬送されたが死亡した。	11502	30 ～ 49
2007	1	8 ～ 9	建屋外にある2段重ねのフレコンバック（一袋約1tでコークスが入っている）のうち、下のフレコンバックが破損し、そこからコークスが漏れだしたため、被災者が補修（単独作業）しようとしたところ、不安定な状態になった上段のフレコンが崩壊してしまい被災者が下敷きになった。	11502	300 ～ 499
2007	10	13 ～ 14	午前中に玄米が入った米袋（重さ約1t）の移動作業中、米袋から相当量の米をこぼした。午後から別の米袋にこぼれた米を入れ替える作業を行っていた時、3段積の米袋が崩壊、その下敷きとなった。	80109	1～ 9
2007	1	9 ～	コンテナトレーラーからの荷降し作業において、コンテナ内部奥にある荷（梱包された集成材1段1個の3段積み、1個当たり：幅50×高さ64×長さ210cm、重量約270kg）をハンドリフトを使用し手前側に移動	10402	10 ～

		10	中、ハンドリフトの車輪がコンテナ作業床の端より外れたため、3段積み の荷が被災者側へ荷崩れし、近くに止めていたフォークリフトのフォーク垂直 部分と荷にはさまれ死亡した。		29
2007	12	7 ～ 8	マイナス25℃の冷凍庫内で原料入り段ボール箱（重量約12kg／個）の 下敷きとなって意識のない状態で倒れていた被災者が発見された。被災者は 段ボール箱30個（3個×10段）を積載したカゴ台車を引き出そうとした ところ、足を滑らせて転倒し、崩れ落ちてきたダンボール箱の下敷きになっ たものと思われる。	10109	30 ～ 49
2007	9	16 ～ 17	倉庫内に積まれている米の出荷を行うためフォークリフトを取りに行った被 災者が戻ってこないため、同僚が探しに行ったところ、別の倉庫内で小麦の 入ったフレコンバッグ（1袋1t）で構成されたはい（最大高さ4.3m） が崩れ小麦が散乱しており、フレコンバッグをよけたところ下敷きになっ ていた被災者を発見した。	170209	50 ～ 99
2006	12	11 ～ 12	工場内に2tトラックを入場させ、トラックの荷台に高さ1.1m、長さ 3.5～4.75m、直径7cm、重量50～60kgの安全柵6本を、つ り上げ荷重900kgのテルハを使用し、1本ずつ起立した状態で積み込ん でいたところ、安全柵がバランスを崩し高さ37cmの荷台のあおりを超え て工場床面へ倒れ、床面で積み込み補助作業をしていた被災者に当たった。	11301	1～ 9
2006	11	15 ～ 16	廃棄物（薄い木くずの束、1束約1t）をトラック（最大積載量13.9 t）で運搬してきた労働者が、荷台の上で作業していたところ2段に積み上 げられた木くずの1束が荷崩れした。被災者は荷崩れした荷に激突され、ト ラックの荷台から荷と一緒に墜落し、そのまま荷の下敷きとなった。	40301	50 ～ 99
2006	8	9 ～ 10	トラックから荷降ろしした際、散らかった古紙を清掃中、脇にあった古紙の はいが崩壊し、下敷きとなった。	40301	30 ～ 49
2006	7	16 ～ 17	資材センター内で足場板に防錆塗料の塗布作業中、崩れた資材の下敷きに なった。	80409	1～ 9

2006	7	13 ～ 14	工場内で、12.5tトラックから大型ダンプ用タイヤ（直径1.8m、重量370kg）をフォークリフトで積卸す作業中、付近で別作業をしていた労働者がトラックの荷台の下で横たわっている被災者（トラック運転手）を発見した。トラック荷台には立て掛けてあったはずのタイヤが倒れており、その下から被災者のヘルメットが発見された。	40301	100 ～ 299
2006	5	16 ～ 17	2段積みになされたフレコンバッグのフォークリフトでの運搬作業中、運搬前の物について下段の袋が破れ、粉体がこぼれ出ているのを発見したため、フォークリフトを降り、テープで穴を塞いでいたところ、上段の袋が滑り落ちて来て身体を挟まれた。フレコンバッグの1袋の重さは900kg、パレットに固定されていた。	11001	50 ～ 99
2006	4	11 ～ 12	工場建屋内において、被災者は通路上でベルトの両端をカットする作業を行っていたところ、通路の両側に積まれたロール状の巻ベルトのうち2段目の一つ（直径172センチ、幅50センチ、重さ1380キロ、巻取長さ250メートル）が倒れ、被災者が下敷きとなった。工場はロール状の巻ベルトの倉庫として使用されており、建屋の通路を挟んで両側に1段から2段に積まれていた。	10806	30 ～ 49
2006	3	15 ～ 16	下部に脚輪を付けた調整枠を筋かいでつなぎ台車を組立て（布板は組んでいない）、この台車により軽天下地材等（C型鋼；長さ5m、総重量約1.5～7t）を5名で運搬していた。途中、脚輪のストッパーがかかったためか押しなくなったため、被災者が後方枠の真後ろ荷の下に入り、一斉に押したところ台車が崩れ、被災した。	30201	1～ 9
2006	2	9 ～ 10	倉庫からパレットに載せてあるオイルの入ったドラム缶（1本が約200kg）をコンテナに積み込むため、被災者はフォークリフトを使用して倉庫からコンテナ付近まで運搬、同僚はそれをコンテナに積み込んでいたが、被災者がドラム缶を運搬してこなくなったため、同僚が倉庫に確認しに行ったところ2段目のパレットでドラム缶に挟まれている被災者を見つけた。	40301	10 ～ 29
2005	8	10 ～	河川災害復旧工事現場において、河川の護岸にブロックを据え付ける作業	30107	1～

		11	中、ブロックが積まれていた仮置場でブロックの下敷きとなった。		9
2005	11	7 ～ 8	自社からトラックで運搬して来た荷を降ろす作業中、荷台内に立て掛けてあった梱包ガラス（重さ170kg）を固定していたラッシングベルトを外したところ、梱包ガラスが倒れ、被災者が下敷きとなった。	40301	50 ～ 99
2005	11	10 ～ 11	加工する材料を材料置き場に取りに行ったところ、2段積みされていた金属かごの上段が荷崩れを起こし、その金属かごに挟まれた。	11301	30 ～ 49
2005	10	7 ～ 8	荷降ろし準備のため、トラック荷台のあおりを倒した後、地上で、2分割のあおりを固定するための支柱を荷台より抜き取った際に、支柱にもたれていたスチール机の天板（230×140cm、重さ40kg）が被災者の方に倒れ、下敷きとなった。	40301	50 ～ 99
2005	11	2 ～ 3	配送センター内において荷下ろし作業中、被災者がトラック荷台のウイングを開け、アオリを下ろしたところ、積載していた貨物が落下し、下敷きとなった。	40301	30 ～ 49
2005	2	11 ～ 12	トレーラートラックに積載した木材を車両積載形トラッククレーンを用いて、地上に下ろす作業を行っていたところ、当該トラッククレーンが操作を行っていた被災者側に傾き、当該トラッククレーンの荷台に積載していた木材が滑り落ちて、着地したつり荷との間に挟まれた。	40301	10 ～ 29
2005	5	16 ～ 17	電線等の廃材から取出した銅線を束ねて荷姿（1束の重さ0.3～1トン）にし、はい積みして保管していたところ、はいが崩れ、付近で廃材の加工を行っていた被災者が銅線の下敷きとなった。	11009	10 ～ 29
2005	3	15 ～ 16	倉庫内に積み重ねられていた家畜飼料入りのフレキシブルコンテナ（重さ400kg）のうち、上から3段目までが崩れ落ち、落下した最上段のフレキシブルコンテナと床に置かれていた別のフレキシブルコンテナとの間に挟まれた。	40301	100 ～ 299
2004	1	16 ～	15 t トラックに積んだアルミスクラップを荷卸しする作業中、左側アオリを開けて準備していたところ、荷が崩壊し、最上部に積んでいたアルミスク	40301	10 ～

		17	ラップ3束が崩れ落ち、そのうち1束（約600kg）が被災者を直撃した。		29
2004	4	6 ～ 7	コピー用紙を積んだパレットをフォークリフトをバックで旋回移動中、上部の荷が崩れそうになったため、荷を地上に降ろし荷を押して修正しようとしたが支えきれず、荷が当たった。	40301	30 ～ 49
2004	12	9 ～ 10	鋼板コイルの積み込み作業において、横倒しになった鋼板コイルの下敷きとなった。	40309	10 ～ 29
2004	4	6 ～ 7	コピー用紙を積んだパレットをフォークリフトをバックで旋回移動中、上部の荷が崩れそうになった。そのため、荷を地上に下ろし荷を押して修正しようとしたが支えきれず、荷が倒れて被災者に当たった。	40301	30 ～ 49
2004	4	0 ～ 1	くず米倉庫において、米の入ったフレコンバッグ（重量約1 t）をはい積みしていたところ、4段に積み上げたフレコンバッグが崩れ落ち、その下敷きになった。	10109	10 ～ 29
2004	7	16 ～ 17	コンクリートセグメントをフォークリフトで製品置場まで運び、いったん仮置きした後、運転席から降りて、運んできたセグメントを2段目に積むために台木を置く作業をしていたところ、フォークリフトで運んできたセグメント1ピースが倒れその前で作業していた被災者が挟まれた。	10901	30 ～ 49
2004	12	11 ～ 12	ドラグ・ショベルの旋回台の上部部品を移動させる作業中、同部品が被災者の方へ崩れ、停めてあったフォークリフトと旋回台の上部部品の角との間に挟まれた。	11301	30 ～ 49
2004	8	13 ～ 14	建設会社の資材置場で、被災者が運転していた車両積載形トラッククレーンの荷台後方が脇に野積みされていた鋼管の束に接触し、これを緊結していた鉄帯2カ所のうち1カ所が切れ、被災者がこれを直そうと車から降りたところ、上段の鋼管数束が落下、崩壊したため、車両積載形トラッククレーンと鋼管の間に挟まれて死亡した。	30201	1～ 9
2004	12	7 ～	荷捌場内で、荷の建築部材（長さ約3m×20本、総重量350kg）を立てて積んであるキャスター付きの鋼製カゴ（幅108cm×奥行110cm×高さ180cm）を	40301	30 ～

		8	トラックに積み込むため移動させようと手前に引いたところ、荷および鋼製カゴが被災者側に倒れ、下敷きとなった。		49
2004	10	7 ～ 8	杭打工事に使用する鋼管ヤットコを加工する為、65 t クローラクレーンを 使って格納場所からヤットコを取り出す作業中に、玉掛けを行っていた被災 者の背後に積まれていた他のヤットコが突然崩れ、被災者に激突した。	30199	50 ～ 99
2004	5	19 ～ 20	フォークリフトを用いて普通トラックの荷台から専用パレットに固定された ガラス板約800kgの荷下ろし作業中、当該荷を少し上げたところ、荷が倒れか かったため荷台上でフォークリフト運転士に合図を行っていた被災者が転落 し、当該荷の下敷きになった。	10503	1～ 9
2004	8	17 ～ 18	飼料保管倉庫内において、はい付け、はいくずし作業中、倉庫中央部にでき た空間で袋詰め飼料（フレコンバック：500～1000Kg）をクレーンで下ろす 作業を行っていたところ、はいの一部が崩れ、袋詰め飼料の下敷きになっ た。	40301	30 ～ 49
2004	9	14 ～ 15	倉庫の清掃中に落下してきた麻袋（米が入っており、約60kg）の下敷きと なった。	40301	10 ～ 29
2004	9	11 ～ 12	フォークリフトを用いて、トラックに積載していた牧草ロールを倉庫に運搬 する作業を行っていたところ、3段積み（高さ3.5m）の最上段の牧草ロール が落下し、落下地点付近で掃除をしていた被災者を直撃した。	40301	50 ～ 99
2004	10	17 ～ 18	7人で肥料の入ったフレコンバック（重量500kg）のはい（4列×3～4列で4～ 5段積み）の上部にブルーシートを掛ける作業中、隣接するフレコンバックの はい（2列×4列、4段積み）の一部が崩壊し、地上で作業していた被災者が、 その下敷きになった。	40301	10 ～ 29
2003	12	10 ～ 11	倉庫内にあった鶏糞肥料（15kg、50袋、3段積み）の一部が崩れ落ちていた ので、荷の脇で積み直し作業を行っていたときに、北隣の3段積みの肥料が南 側に荷崩れして積み直し作業をしていた者が下敷きになった。	11709	1～ 9
			倉庫内において、同僚3名とトレーラーから木枠で梱包されたガラス板（総質		

2003	12	15 ～ 16	量2t) を天井クレーン (2.8t) により荷卸する作業で、荷台上に自立した木枠の転倒を防止するため、木枠とその対面にある鉄枠の間に角材をはさみ込んで支えていたときに、角材が外れたため木枠が倒れてきて激突され、頭部を木枠と鉄枠との間にはさまれた。	11709	～ 29
2003	11	11 ～ 12	4tトラックにスチール製ドア等を積んでマンション新築工事現場まで運び、荷台 (地上約1m) 上から地上の現場作業員に荷を1個ずつ手渡す作業をしていたときに、スチール枠が倒れたため荷台から地面に仰向けに転落した。	40301	～ 99
2003	11	9 ～ 10	アパート建設工事現場で、車載型クレーンで石膏ボードの荷卸作業中に、トラックの荷台から石膏ボードが崩れ落ち下敷きになった。	40301	10 ～ 29
2003	10	11 ～ 12	倉庫内で、フォークリフト (最大荷重3t) で牧草 (一束の大きさは約40cm四方でその重さが約40kgのものを通常12～24個ごとにビニール等で1パックにしたもの) の運搬を行っていたときに、積み上げられていた牧草が崩れ下敷きになった。	80109	1～ 9
2003	8	15 ～ 16	工場の盆休み中に行う定期修理において、蛍光灯を廃棄場所に捨て作業場にもどるため構内 (屋外) を歩いていたときに、高さ約4mに積み上げられた石膏ボードが不安定な積み方だったため崩壊し下敷きになった。	30301	1～ 9
2003	6	11 ～ 12	20tトレーラーのコンテナに積まれた大理石15枚 (282cm×158cm、厚さ2cm、総質量約3.3t) の荷卸し作業で、コンテナ内に立ち入ったときに荷が倒れ、荷とコンテナ内壁との間に胸部をはさまれた。	10409	50 ～ 99
2003	5	14 ～ 15	工場新築工事において、土手に置いた足場材を使うため結束した4カ所のうち3カ所をカッターで切断し、最後の1カ所を切ったときに束が崩れ、1本15.5kgの足場材35本とともに河川 (高さ160cm) に転落して足場材の下敷きとなった。	30201	10 ～ 29
2003	3	14 ～ 15	港に船で運ばれた骨粉入フレコンバック (高さ1m、幅1m、質量500kg～1t) を倉庫内へ積む作業において、フレコンバックが破れて床面に散乱した骨粉を角スコップで清掃していたときに、積み上げられたフレコンバックのうち4段目のフレコンバック1個が落下し、直撃された。	80401	50 ～ 99

2003	2	11 ～ 12	40フィートコンテナから輸入合板を引き出す作業で、2段積みされていた上段の合板の束をフォークリフトで取り出して荷を下げたところ、合板がフォークリフトのつめ上から横に倒れて誘導者に激突した。	50202	1～ 9
2002	11	15 ～ 16	外注先へ4 tトラックで製品を引き取りに行き、トラックに積み込んだ荷の上で荷締め作業を行っているときに、荷が崩れて荷とともに地上に落下し荷の下敷きになった。	11209	1～ 9
2002	11	17 ～ 18	地面に置いていた鉄函（積み重ねたもので高さ約1.8m）の前を通り抜けようとしたとき、上積みの鉄函が傾いて脇にあった別の鉄函との間に挟まれた。	80109	1～ 9
2002	11	11 ～ 12	圧縮梱包されたポリエステル綿（質量170 k g）を工場から倉庫へフォークリフトで4個ずつ運んで12個を1ブロックとするはい積み作業を行っていて、フォークリフトから降りて次のはい積みの準備をしているときにはい積みしたブロックが崩れてその下敷きになった。	10802	50 ～ 99
2002	11	15 ～ 16	大型トラックのコンテナ内で、2人で縦積みされていた鉄製フェンス（縦150 c m、横2m、厚さ1 c m、重さ70 k g）を1枚ずつ引き出して下ろす作業中に、残り42枚の荷が倒れかかってきて1名が死亡した。	50202	50 ～ 99
2002	6	8 ～ 9	納品先の倉庫において、10tトラックで運搬してきた木枠に梱包した重さ約1.3tのガラスの荷、合計6個を同倉庫の作業員が運転する天井クレーン（2.8t）で荷下しする作業中、荷台上でラッシングベルトで固定されていた荷を外そうとしてベルトを緩めたときに荷が倒れ、荷台とあおりとの間に挟まれた。	40301	1～ 9
2002	6	13 ～ 14	前週から保管されていたコンクリートブロック3段積み（2列、計6個）上にコンクリートブロック2個（4段目、1個250kg）を専用アタッチメント付フォークリフトで積み上げ、4段積みになったブロック（高さ2m25cm）付近でバランス等を確認していたところ、突然4段目から3段目のブロック等が崩れ下敷きになった。	10901	10 ～ 29
			屋外作業場において、3束積上げてある床材の一番下の束の枚数を数えるため		

2001	12	0 ～ 1	フォークリフト(積載荷重3t)で上2つの束(重さ約2. 2t)を持ち上げ1. 65m離れた地面に置こうとしたところ、下の束の鉄製結束バンドのクランプ部分が抜けたため上の束が不安定になってフォークリフトから落下し、近くにいた者が崩れ落ちた床材の束と地面に置いてあった床材の束との間に胸部を挟まれた。	10401	30 ～ 49
2001	11	17 ～ 18	発電機建屋に取付け予定の金属製壁パネル(質量565kg、輸送のため2枚を合わせ1組としたもの)を建屋前の資材置場に立てて仮置したところ、約15分後に倒れ別資材点検のために居た別作業班の作業者が下敷になった。	30302	1～ 9
2001	11	14 ～ 15	岸壁に接岸した船の船倉から梱包された合板(質量約1. 4t)を荷揚げしていたところ、突然左舷側の合板12梱包が倒壊し、その下敷きになった。	50202	1～ 9
2001	10	18 ～ 19	屋外製品置場に、コンクリート製梁材をクレーンで吊り降ろし、玉掛用の金具を梁材から取り外す作業中に、自立させてあった梁材が突如倒れてきたため逃げ遅れて梁材と隣接して置かれていた別の梁材との間に下半身を挟まれた。	10901	30 ～ 49
2001	9	11 ～ 12	玄米が入った紙袋(1袋約30kg)のはい付け作業中に約5mのはいが崩れたので、片付けていたときに崩壊せずに残っていた高さ約5mのはいが崩壊し、下敷きになった。	170209	30 ～ 49
2001	8	11 ～ 12	1. 5t積トラックの荷台に積んであったアルミサッシ20枚の荷卸しを行うためロープを解いたところ、荷台に積んであったアルミサッシが倒れ、サッシとブロック塀との間に挟まれた。	11709	10 ～ 29
2001	7	15 ～ 16	3tトラックにコイル状の鋼材(質量1362kg)をクレーンで積み込み、荷台上で固定の作業をしていたときに鋼材が倒壊してその下敷きになった。	40301	10 ～ 29
2001	7	9 ～ 10	倉庫に「深井戸用水中ポンプ」の入った「鉄製アングルのかご」を積載型移動式クレーンに積込む作業中、積込む「かご」以外の「水中ポンプの入った「かご」(3段に積まれていた)の近くを通行したときに、2段目と3段目の「かご」(各重量約500～700kg)が崩壊し下敷きになった。	30199	10 ～ 29

2001	4	13 ～ 14	棒鋼線材工場において、鉄線をドーナツ状に束ねた製品(直径175cm、質量約1t)を片脚橋形クレーンで縦に吊って運搬し他の製品に立て掛けて置いたところ、そのうちの1束が倒れてきてその下敷きとなった。	11001	～ 299
2001	5	16 ～ 17	飼料を入れたフレコンバッグ(質量500 k g)の上でバッグの上部にある吊り下げ用の取っ手をフォークリフトの爪に掛ける作業をしていたときに、横に積み上げられていた他のフレコンバッグが崩壊し、そのフレコンバッグとフォークリフトの爪に挟まれた。	11709	30 ～ 49
2001	5	15 ～ 16	宅地造成工事において、土留め用PC盤をドラッグショベルで吊り上げて設置しているときに、PC盤が倒れ下敷きになった。	30109	10 ～ 29
2001	3	14 ～ 15	はい積みされたアルミ灰のコンテナ袋(1袋あたり500 k g)が崩れたため、はいの下方にいた者が下敷きになった。	11109	30 ～ 49
2001	2	8 ～ 9	トラックの荷台に積んだ信号柱(長さ約8. 5m、重さ約200 k g)7本を降ろす作業中に、信号柱が崩れて、柱とともに1. 5m下の地面に転落した。	30301	1～ 9
2000	11	14 ～ 15	6. 5tトラックから根固めブロック(500kg)を仮置きヤードに積み降ろすため、ブロックを4個まとめて玉掛けを行っていたとき、2段積みのブロックが安定を失って荷崩れを起こしたため約1m下の地面に荷台から転落したところへブロックが落下してきた。	30111	50 ～ 99
2000	7	16 ～ 17	倉庫内において、積み重ねられたフレコンバックを同じ倉庫内の他の場所に移動する作業でフォークリフトで4段1列のはい付けが終わり、2段目の1個を置くためにフレコンバックを移動していたときに、1列目の3段目と4段目のフレコンバックが倒壊し下敷きになった。	40301	30 ～ 49
2000	11	16 ～ 17	フォークリフトで合板(180枚)の束を運搬中にパレットが割れて束が自立した状態で床上に落下したので、片づけるために束に近づいたところ、束が崩れてきたために、転倒し床に後頭部を打ちつけた。	10402	10 ～ 29

2000	11	6 ～ 7	製紙工場内において、20尺パルパーの粕取り作業に従事していたときに、2列4段積に仮置きしてあったダンボール古紙のうち上2段が地上へ落下し、それに激突されるとともに古紙とパルパー壁との間に挟まれた。	10601	～ 99
2000	11	9 ～ 10	船で運ばれてきた積荷の合板を荷揚げするため船倉内で玉掛けを行っていたところ、積み荷が崩れて頭部を強打した。	50202	30 ～ 49
2000	6	15 ～ 16	3. 5tトラックで取引先会社に着し、トラック荷台にフォークリフトで運搬してきた合板450枚を荷台にのせる作業の準備として合板の下に盤木3本を敷く作業を行っていたときに、合板450枚がフォークリフトにより荷台の盤木上に置かれた直後に合板が崩れ、荷台上から道路上に転落して落ちてきた合板の下敷きとなった。	40301	30 ～ 49
2000	7	9 ～ 10	工場内の故紙はい積み置場で、積み荷の傾きを直しているときに、ばらけた故紙を集積するための清掃を行っていた者を3段目のはい積み(約480キ口)が崩れ落ち直撃した。	10601	10 ～ 29
2000	4	9 ～ 10	倉庫内で「ツキ板」の検品作業を行っていたときに、ツキ板のはいが、高さ4m・奥行2mに渡って崩壊し、1名は床に頭部を強打し死亡、他の1名は負傷した。	80109	1～ 9
2000	12	22 ～ 23	直径1. 3mのコイル状に束ねられた鉄線5把(1把の質量約1t)をラムフォークリフトで移動させる作業で、5把目の鉄線コイルを置き場近くまで運搬してきて鉄線コイルを置く台の位置を調整していたときに、先に運搬してきた鉄線コイルのうち1把が倒れてきてその下敷きとなった。	11009	300 ～
2000	11	15 ～ 16	船倉内において、ドリルパイプ(長さ約9メートル、質量約170kg)1499本を積み付けてワイヤーロープで固縛中に、崩れてきたドリルパイプの下敷きになった。	50209	10 ～ 29
2000	3	18 ～ 19	倉庫内で翌日使用する材料をフォークリフトで運び出そうとしたが荷の間隔が狭いので、3. 3m程度に積み上げられた古畳に上り荷を動かそうとしたときに古畳が倒壊し、下敷きになった。	11709	1～ 9

2000	6	17 ～ 18	備蓄米を保管する定温倉庫でパレット5段積み(1パレット30kg米袋6段42袋)をはい積みしていたところ崩壊したため、応援を入れて3名で片付けていたときに、崩壊した荷のとなりのパレットが再度崩壊し、その下で片付けをしていた者が生埋めとなった。	40301	50 ～ 99
1999	12	17 ～ 18	製品の一部の材料であるコネクター(重さ750gのL鋼)を取り出すため、コネクターを入れてあるセットテーナ(コネクターを1200枚入れたメッシュの金網状の箱)の3段積みが一番下のセットテーナの扉を開けたところ、扉の左右の間が座屈して崩壊し、下敷きになった。	11209	50 ～ 99
1999	9	0 ～ 1	スクラップされるトラック及び普通乗用車のシャーシが積載されているトラックを誘導中に、荷が崩れ下敷きになった。	11009	1～ 9
1999	9	9 ～ 10	箱型トレーラーの荷台にプラスチックシートを打ち抜いたスクラップのロール状の荷(1個推定22kg)を1つのパレットに6個4段積んだものを奥行き方向に8列積み、重機の爪で押し込もうとしたところ一番手前の荷が12個が崩れて荷台上にいた者に激突した。	80109	30 ～ 49
1999	8	11 ～ 12	大改修工事に使用する護岸ブロック(重さ180kg)をフォークリフトで2重6段(2メートル超)に積み重ねたのち、補助者がつり補助用具(鉄棒)をブロックからはずそうと隣の同じように積まれたところを登って作業をしていたときに、その部分が崩れブロックの下敷きになった。	10901	10 ～ 29
1999	8	17 ～ 18	小麦保管倉庫内において小麦用コンテナバック(重量約1t)が5段高さ約4メートルに積み上げられたところから南側に1. 2メートル離れた箇所床面にビニールシートを敷く作業をしていたところ、コンテナバックが突然倒れ、下敷きになった。	170209	50 ～ 99
1999	8	17 ～ 18	廃土を鉄製のカゴに入れて運び、所定の投棄場所で廃棄するためカゴを傾けたが流れ出なかったため、別の方法(クレーンでカゴを吊り上げる。)を行うため段取りを行っていたところ、突然カゴが倒れたため、側にいた者が下敷きになった。	30105	10 ～ 29
		14	小型移動式クレーンの荷台からベニヤ製型枠用パネルの束を降ろすため、玉		

1999	7	～ 15	掛けの作業をしていたときに積載してあった型枠用パネルの束が倒壊してきて、その下敷きになった。	30209	1～ 9
1999	5	0 ～ 1	廃品置場で空缶の分別作業を行っていたところ、高さ1.1mの所に積んでいた電化製品を入れた重さ460kgの袋が崩れ、下敷きになった。	80109	10 ～ 29
1999	4	9 ～ 10	冷凍庫内で空のパレットに20個の荷を積み込んでいるときに、四段重ねのパレットが荷崩れを起こして下敷きになった。	40301	10 ～ 29
1999	4	10 ～ 11	フォークリフトで梱包した合板をはい積みしてフォークリフトを後進させようとしたときに、最上部の合板が崩壊して運転席に落下し、ヘッドガードが押しつぶされた。	50101	50 ～ 99
1999	3	10 ～ 11	ロール状の製品をトラックから荷受けするため、高さ約3mに積み上げていた空パレット24枚のうち上部2枚をフォークリフトで地上に降ろし、そのうちの1枚を手作業で横へ移動していたときに、積み上げられた残りのパレットが崩れ落ちてきて、頭部に激突した。	10805	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_31.htmlに戻る。